

令和 6 年度 専門学校デジタルアーツ東京

自己評価報告

令和 7 年 3 月 31 日

 菅原学園

専門学校デジタルアーツ東京

目 次

1. 学校の教育目標

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) . 教育理念・目標

(2) . 学校運営

(3) . 教育活動

(4) . 学修成果

(5) . 学生支援

(6) . 教育環境

(7) . 学生の受け入れ募集

(8) . 財務

(9) . 法令等の遵守

1. 学校の教育目標

本校は、学校教育法に基づく教育機関として、多様化、高度化し変遷する産業及び社会構造の変化に対応するデザインや音楽、演劇・情報技術（IT）・ビジネスの各分野に関する理論とその実践的応用の教授を行う。

かかる教育目的の実現により、国家、地域社会ならびに産業の発展に寄与する実務に即応できる人材と自由かつ創造性に富む人間の育成を使命とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

本校の各分野の目指す業界動向を掴み、カリキュラムや教育指導に迅速に取り入れ就職に結びつける。「学内コラボレーション」をより進め、クリエーター・アーティストとしての発想や創造性を豊かにしていくと共に企業との連携による実務体験やインターンシップを通じプロデビューや就職を達成していく。

このような専門教育と並行し人間力の向上として、「挨拶」から始まる社会人としてのルールやマナー・職場におけるコミュニケーション能力を指導する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

（1）教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 2 1

① 課題

学校教育法の一部を改正する法律が国会にて可決され、教育の質の保証を目に見える形で提示する必要性がさらに高まっている。教育目標についても具体化し実践的な教育機関として役割を果たせることを提示しなくてはならない。

② 今後の改善方策

教育内容の特徴を踏まえ、必要に応じてアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの適宜見直し、改善を図る。

③ 特記事項

教育の質保証・向上に向けた取り組みを推進し、高い専門性と人間力を兼ね備えた職業人の育成に取り組む。また、シラバス改善等による学修成果の可視化を図り、外部評価受審に向けた学内体制の構築を準備することを学園重点項目とした。

(2) . 学校運営

評 価 項 目	適切… 4 、 ほぼ適切… 3 、 やや不適切… 2 、 不適切… 1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	(4)	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	(4)	3	2	1
・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	(4)	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	(4)	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	(4)	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	(3)	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切におこなわれているか	(4)	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	(4)	3	2	1

① 課題

創造力と実践力、人間力の育成を教育理念とし、デジタルコンテンツ業界で活躍できる人材の育成を目的に教育活動を展開してきたが、除退学率を目標数値内に収めることができなかった。

② 今後の改善方策

学生一人ひとりの満足度を高めるために、技術の習得にとどまらず、クラス単位でのイベントや他学科との交流など「学校=楽しい場所」となる対策を実施し、除退学者の減少に取り組んでいく。

③ 特記事項

社会に対するコンプライアンス意識を高めるため、所轄の目白警察署の協力のもと闇バイトや薬物に対する注意喚起、SNSの正しい活用、交通ルールの徹底について講座を学生に対し行った。

(3) . 教育活動

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	(4)	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	(4)	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	(4)	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	(4)	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	(4)	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（产学研連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	(4)	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	(3)	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	(3)	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	(4)	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	(4)	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	(4)	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	(4)	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	(4)	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	(3)	2	1

① 課題

全学科におけるカリキュラムの見直しを行い、業界のニーズの変化に対応するための実習時間の拡充および最新ソフトウェア・機材の導入を実施した。また产学研連携を拡し、在学中から企業と連携した実践的な制作活動に取り組む体制を整えているが、実施内容に対する評価については明確化しきれていない。

② 今後の改善方策

連携企業や関連業界からのフィードバックをもとに、教育内容に対し各学科が自己点検評価する体制をさらに推進していく。

③ 特記事項

12月に実施された職業教育・キャリア教育財団主催のビジネス能力検定3級試験では全国平均を上回る94.3%の合格率となった。ビジネスマナー教育が学内に浸透し、学生の人間力向上につながっている。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・就職率の向上が図られているか	(4)	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	(4)	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	(3)	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	(3)	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	(4)	3	2	1

① 課題

精神的な問題を抱え不登校を経験した学生や集団での勉学に不安のある学生もあり、学業のサポート以上に時間をかけて対応する必要性が生じている。欠席が目立つ学生については家庭との連絡を密にしながら対応しているが、除退学を効果的に減少させには至っていない。

② 今後の改善方策

今後も登校に不安のある学生に対する個人面談を実施し、個々の心理的不安の緩和に努める。また、それぞれの学生が学校に居場所を得られ、学校=楽しい場所となるようクラスや学科でのイベントの実施や他学科との交流などで改善の糸口を探っていく。

③ 特記事項

[特になし]

(5) . 学生支援

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	(4)	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	(4)	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	(4)	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	(4)	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	(3)	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	(4)	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	(4)	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	(3)	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	(4)	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	(3)	2	1

① 課題

特別講座期間の就職セミナーや東京商工会議所主催の就職相談会など、外部ガイダンスの充実を図った結果、卒業生の就職内定率は前年比10%増となった。さらに学校の評価に繋がる業界就職率を高めていくことが課題となる。

② 今後の改善方策

イラストやマンガ、シナリオ、フィギュア分野では、国内外のコンテストや展示会への参加支援も継続しており、多数の学生が受賞・入選を果たすなど、成果がとして表れている。今後も支援体制を強固にしていき、学生の就職やデビューに結び付けていく。

③ 特記事項

学校での怪我以外に学外、休日での怪我にも24時間保障となる総合保障制度に学生全員が加入している。自転車で事故を起こしてしまった際の個人賠償責任保障や課外活動での傷害補償、SNSでのトラブル被害対応補償なども含まれている。

(6) . 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	(4) 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	(4) 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 (3) 2 1

① 課題

教育環境を充実させるため実習教室の機材については定期的に更新をしているが、校舎の修繕についても耐用年数の問題もあり計画的に対応する必要がある。

② 今後の改善方策

校舎の修繕に関しては複数年での更新工事を計画しており、授業に影響が出ないよう配慮しながら円滑に進められるよう準備している。また、オンライン設備や学内 WiFi 環境整備など、さらに充実した教育環境を整えていく。

③ 特記事項

Windows10 のサポート終了を控え、令和7年度は実習機材の更新のための予算取りをした。学内 PC のセキュリティ対策についてもより強固なシステムに変更する予定。

(7) . 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	(4) 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝われているか	(4) 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	(4) 3 2 1

① 課題

高校ガイダンスや SNS (TikTok、Instagram) を中心とした広報により、オープンキャンパスへの動員を図ったが、参加者数は減少した。18歳人口の減少に対応し、高校生にとって魅力に感じる学校づくりが急務となっている。

る。

② 今後の改善方策

オープンキャンパスの内容を拡充するとともに各学科の魅力を確実に伝える意識を各担当が持つて対応する。また、日本人と共に学ぶ意欲ある留学生の募集にも注力していく。

③ 特記事項

コロナ禍以前に留学生の入学者数は戻ったが、専門学校で学ぶレベルの日本語力を持つ留学生は少なくなってきた。入試にて語学レベルや学ぶ姿勢などを適切に判断し入学者を選抜している。

(8) . 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	(4) 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	(4) 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	(4) 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	(4) 3 2 1

①課題

[特になし。]

②今後の改善方策

[財務に関する情報は、ホームページ上に情報公開している。今後も必要に応じてホームページ上に情報公開していく。]

③特記事項

[特になし。]

(9) . 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	(4) 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	(4) 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	(4) 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	(4) 3 2 1

- ① 課題
 - [特になし。]
- ② 今後の改善方策
 - [特になし。]
- ③ 特記事項
 - [特になし。]